

## 第2回 名古屋城脱出！隠密ロゲイニング大会 レース分析

皆様、このたびはご参加いただき誠にありがとうございました。今回も熾烈な得点争いや名古屋の名所めぐりを楽しんでいただけましたでしょうか？さて、レース結果を振り返り少し分析してみました。再度、バーチャルでレースの作戦などをお楽しみいただければと思います。

### (1) コース設定意図

レース分析を行う前に、今回のコース設定の意図について簡単に紹介します。

コース設定といっても、巡って欲しいスポットの位置は史跡など概ね決まっています。コース設定というのは、各スポットの配点をどうしたらよいか、ということになります。ロゲイニングの性質上、配点は基本的に遠いところほど、また、到達することが難しいところほど高得点になります。

まず、この大会のメインテーマである「隠密脱出ルート」は是非に巡っていただきたいと思います。このルート沿いには多くのおもてなしスポットが配置され、これらスポットには距離の割には高い配点を設定しました。具体的には、40,70,80 などです。

次に考えるべきは、各チームが同じようなルートをなるべくとらないような配点にすることです。例えば西回りと東回りでほぼ同じ配点であれば、作戦によって勝負が左右され、ロゲイニングの楽しさは倍増します。どう考えても同じルートを取らざるを得ない配点では、チームの走力だけで勝負が決まってしまう。頭脳作戦もあわせて勝負するのがロゲイニングの楽しさです。

今回は、脱出ルートはほぼ全チームが通ると予想しましたので、それ以外のルートをどう分散させるかに苦慮しました。今回の作戦でまず大きく考えるのは、北側へ攻めるか、庄内川を越えず東西方向に振るか、だろうと予測しました。

大まかには、脱出ルートのある東側の方がポイントが多く、東側を重点的に回る方が有利そうです。さらに高得点を狙うにはさらに北上することになりますが、そのルート途中の辻本通り方面、番号では37,38,45,48,51,52あたりのエリアは低めの配点にしました。逆に西側は比較的高得点です。

一方、走力があまりないチームにも高得点のチャンスが得られるようにするため、名古屋城の周辺ポイントをこまめに巡るだけでも得点を稼げますし、名鉄瀬戸線をうまく利用すれば高得点を得られるという点にも配慮しました。

### (2) 忍隊レース分析（添付の忍隊のコース図をあわせてご参照ください）

忍隊では、最高得点が男子1位の1825点でした。このチームのルートは大まかには、脱出ルート沿いに東へ向かい、その後、北上し庄内川を越え、名古屋高速沿いに戻ってくる、というルートです。3時間の制限時間で戻ってくるには、どこまで北上するかを考えながらのレースであったと思われる、チームの走力をよく把握していたのではないのでしょうか。

一方、総得点で2位だった1539点のファミリークラス1位のチームは、これとは逆周りで、名古屋高速沿いに北上し、庄内川を越え、東回りでポイントを押さえつつ南下、37番から一気にゴールへ来ています。北側で高得点を押さえた上で時間一杯ポイントを巡るという作戦だったようですが、高得点のある脱出ルートは通っておらず、そのあたりで得点差が開いたかもしれません。

1274点の男女混合1位のチームは、脱出ルートを通じた後、ナゴヤドームなど東側へコースを振り、庄内川は渡らず戻ってくるコンパクトなルート取りをしています。チームの走力などを考慮したものと思われませんが、その中で最大限の得点を得ており見事男女混合で優勝となりました。

忍隊は3時間という制限時間のため、あまり遠くには行けません。その時間制約の中でいかに高得

点を狙うかが勝負の分かれ目になったと思います。

### (3) 殿・姫隊レース分析 (添付の殿・姫隊のコース図をあわせてご参照ください)

殿・姫隊で最高得点は 3047 点の男子 1 位のチームです。そのルートはおおまかには最初に名古屋城周辺のポイントを細かくおさえた上で、西側から北上、庄内緑地から一番北は中央卸売市場まで行き、そこから東側を南下、庄内川を渡ったところで一旦名古屋高速沿いを通り、さらに東側から脱出ルートに戻ってくるというルートです。

一方、総合得点では 2 位の 2831 点、男子 2 位のチームは、スタート後、直接西側へ向かい、1 位のチームと同様のルートを辿って、一番北は県営名古屋空港を取り、庄内川を渡って南下、脱出ルートとそのやや南側のポイントを取ってゴールしています。

1 位と 2 位のチームの作戦は殆ど同じなのですが、北側では県営名古屋空港をとるか取らないかの違いでその差は 89 点なのに対し、1 位チームは最初に名古屋城周辺で 300 点近く稼いだのが勝因のひとつと思われます。一般的な作戦としてはゴール周辺のポイントは時間調整のため最後に残すことが多いのですが、今回は、脱出ルート側にも多数ポイントがありこちらでも時間調整がやりやすかったと思われます。

一方、男女混合 1 位、2719 点のチームは、最初、名古屋高速沿いに北上し、一番北がポンプ場 87 番で、その後、東回りで南下、脱出ルートとそのやや南側をまわる男子 2 位のチームと似たようなルートをとっています。

西側の高得点エリアは通ってはいませんが、男子 2 位に肉薄する高い得点を得ているのはさすがです。

制限時間が 5 時間あるため、走力のあるチーム同士は、ほぼ全域を回ることができ、得点差がわずかな作戦の差で生まれやすかったと思われます。最初に名古屋城周辺を巡って得点を稼いだチームが最高得点だったのは、コース設定者としても想定外の見事な作戦だったと思います。

### (4) ポイント別分析 (添付の成績表をあわせてご参照ください)

添付の成績表には、ポイント別に通過したチーム数も集計しています。通過チーム数が 50 を超えているのは、13,20,30,40,80 で想定通り脱出ルート沿いに設定した高得点のおもてなしポイントです。やや遠いおもてなしポイントである SAKUMACHI 商店街 70 番も 42 チームと多いです。ここは今年新しくできた商店街で目玉のひとつとして設定しました。また体験グランドゴルフ 20 番では 24 チームに体験をしていただきありがとうございました。一方「きたっこ」と一緒に写真をとる 50 番は 3 チームだけでした。写真取れたチームは本当にラッキーでした。その他、遠くて高得点の割に通過チーム数が多かったのは、72,73,75,83 など、庄内川のすぐ北側のポイントで、忍隊でもここまで到達したチームが結構いたと思います。逆に、通過が一番少なかったポイントが一番南の矢場とん 77 番の 1 チームです。今回、南側にあまり重点を置かない設定であったせいもあるかと思いますが、今後の課題としたいと思います。

(文責：愛知県オリエンテーリング協会、新帯)